

まもなく「世界津波の日」

11月5日は、国連が定めた「世界津波の日」です。11月5日というのは「稲むらの火」の安政地震・津波の起こった日です。稲むらの火の館にとっては、非常に重要な日ということになるのです。「世界津波の日」制定で、昨年11月には世界中でいろいろな催しがあったようです。この提案者である日本では、もちろんいろいろな催しがありました。

「濱口梧陵国際賞」が制定され、個人2人と1団体が1回目の栄誉を受けました。

チリ等中南米の国々と日本が共同訓練を実施しました。国連の訓練組織ユニタールが太平洋島嶼国の女性リーダーを招いて研修を行いました。究極の催しは30カ国の「高校生サミット」で、当館へは半数が和歌山県のホスト校耐久高校の生徒の案内で来られました。

その他では、内閣府が「準天頂衛星システム」の実証実験がありました。NHKラジオの防災特別番組が国際放送として、「館」から世界へ向けて放送されました。

インドネシア、スマトラのアチェでは、教員養成課程で、「稲むらの火」を歌にして子供達に津波防災を教えようとしているのが、NHK国際放送で伝えられました。ニュージーランドでも11月5日に避難訓練を実施したそうです。

さて、今年は

恒例の「津浪祭」は今年第115回目です。

JR西日本は、電車を停めての地震・津波の避難訓練を今年も実施されます。

「濱口梧陵国際賞」表彰式は東京であります。

沖縄県で、「高校生サミット」「世界津波博物館会議」が開催されます。高校生サミットには耐久高校の生徒さんが参加されるそうで、事前調査に来館されました。「世界津波博物館会議」には「稲むらの火の館」代表者も参加します。

NHKラジオ防災特別番組

NHKはラジオ第一放送で防災特別番組を放送します。今年は11月5日(日)午前10時から約2時間、「稲むらの火の館」3階のガイダンスルームへ臨時スタジオを組んでの公開生放送です。皆様御観覧にお越し下さい。

アナウンサー 今城 和久(NHK和歌山)
メインゲスト 奥村与志弘(関西大学准教授)
ゲスト 岡本 玲 (和歌山出身女優)

浪曲「稲むらの火」上演会

浪曲師菊地まどかさんが、新作「稲むらの火」

をお披露目いたします。菊地まどかさんは、今年で15周年を迎える浪曲師です。「稲むらの火」は初披露で、ゆかりの地での上演ですので、皆様お越し下さい。定員は100名です、申込順に入場整理券をお渡ししま



す。整理券のない場合は、入場できませんので、予めご承知おきください

日時は、11月5日(日)午後3時開演です。

~~~~~

「稲むらの火祭り」は21日!

「第15回稲むらの火祭り」は10月21日(土)午後4時から開催されます。

安政の南海地震・津波の際の濱口梧陵翁の活躍を改めて思い起こしていただき、近い将来襲来すると言われている地震・津波に対する意識の高揚をめざして実施されているものです。

オープニングセレモニーから始まって、松明行列へとつづきますので、役場前ばかりでなく、沿道でも見学できますので、皆様お越しください。終点は広八幡神社です。

濱口大明神縁起(その8)

濱田康三郎(かわせみより)

が、実際はハマグチは左迄長く待つ必用がなかったのです。やがて救援の先頭部隊が到着して——二十人許りのほしこい若者達が、矢庭に火の手を消しにかかろうとしました。然し、長者は両の腕をさしひろげて一同を止め、

『おい、燃しておいてくれ!』と命じました。——『燃しておいてくれ! わしは 村中の人に来て貰いたいのだ。えらいことがあるのだ、——大変だ!』

村中の者共は次から次へと押寄せて来たので、ハマグチは彼等の数を勘定しました。若者や少年達は全部間もなくその場に揃い、元気のよい女子や娘達も可なり多く集まりました。引きつづいて中老の人々の大部分、それから背中に赤ん坊を負うた母親達、それに子供達までが——子供達は水を運ぶ手伝いが出来ました——来ました。皆の者について来られなかった足弱の長老連の峻しい坂路を登って来る姿までが、はっきり見えました。殖えまさるこれらの人々は、まだ譯はわからぬままに、物悲し気な訝りの裡に、燃えさかる田圃と長者の落著き払った顔とを交る交る見較べました。太陽は歿しました。

『おじいさんは気が狂ったのだ——こわいよう!』と、皆の者から問いかけられて、タダはすすり泣きながら答えました。『おじいさんは気狂になったのだ。自分で態と稲叢へ火をつけたんだ。私は見ていたんだよ!』

『稲叢へ火をつけたのは、』と、ハマグチは叫びました。『子供の言う通りだ。わしが火をつけたのだ。……一体これはどうしたのですか。』

『来たッ!』と、老人は有りっ丈の声を絞って、沖の方を指しつつ叫びました。『どうだ、これでもわしは気が狂っていたのか!』

黄昏の中を東の方に人々は眼を向けました。そして薄暗い地平線の縁に、長い、細い、微かな、会て見かけたこともなかった海岸の影のような線を——見詰めている間にも次第に太さの増して近寄る人の眼に海岸線のひろがるよ

うに、しかもそれとは比較にならぬ位に早く広がって来る線を、見ました。というのは、その長い暗がりこそは、絶壁のようにそそり立ち、鳶の飛ぶよりも疾く押寄せて来る、海の揺返しなのでした。(つづく)

\*\*\*\*\*

<災害時の情報はどうする?>

和歌山県内のNHKラジオ周波数

|      | ラジオ第1 | ラジオ第2 | NHK・FM |
|------|-------|-------|--------|
| 和歌山市 | 666   | 828   | 84.7   |
| 橋本市  | 666   | 828   | 83.2   |
| 有田市  | 666   | 828   | 84.7   |
| 広川町  | 666   | 828   | 84.7   |
| 御坊市  | 666   | 828   | 83.9   |
| 田辺市  | 666   | 828   | 81.8   |
|      | 1161  | 1602  |        |
| 白浜町  | 666   | 828   | 81.8   |
|      | 1161  | 1602  | 85.2   |
| 串本町  | 666   | 828   | 85.4   |
|      | 585   | 1602  |        |
| 新宮市  | 666   | 828   | 83.8   |
|      | 1026  | 1359  |        |

災害時、停電しても携帯ラジオやカーラジオ、スマートフォン等で移動しながらも情報を適確に把握しましょう。自分の命を守るために。

oooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooo

[おわび] 9月17日に予定していましたが第7回稲むらの火講座は、台風18号の接近により中止いたしました。参加を予定されていた皆様にはご迷惑をおかけいたしました。おわび申し上げます。講師の笠間正弘先生には改めて講演をお願いする予定です。

<稲むらの火の館の紹介>

濱口梧陵記念館/津波防災教育センター

〒643-0071 住所 和歌山県有田郡広川町広 671

<http://www.town.hirogawa.wakayama.jp/inamuranohi/>

\*開館時間：午前10時～午後5時(受付終了4時)

\*休館日：月曜日(祝日の場合は翌平日)

(世界津波の日の11月5日は開館)

年末年始(12/29～1/4)

\*記念館だけの入場は無料です。